


【個人】

提出 平成 29 年 4 月 10 日

山 行 報 告 書

山行報告提出者 : 鈴木

山 域・山 名 : 西穂独標、西穂山荘まで (2,701m) (長野県松本市)	
入山日 : 平成 29 年 4 月 8-9 日 (土-日) 1 泊 2 日	
プラン担当者 正 : 鈴木 副 :	概略図
参 加 者 L : 鈴木 報 : 鈴木 記 : 鈴木 男 1 名、女 名、計 1 名	
天候 4/8 (土) 雨 時々曇り 4/9 (土) 雨 時々曇り	
月 日 ()	集合時間 : (単独行) 午前・午後 時 集合場所 :
4/8 (土)	07 : 05 新宿発路線バスにて平湯経由新穂高温泉、ロープウェイにて西穂高口へ、 13 : 25 山行開始-14 : 40 西穂山荘着、テント設営
4/9 (日)	05 : 00 起床-07 : 25 西穂山荘発-08 : 40 西穂高口到着、 ロープウェイで新穂高まで下山、平湯経由高速バスで新宿まで。
荒天候時のエスケープルート : 小屋泊に切り替えるか、山行中止し引き返す。	
装 備 と 食 糧	共同装備 : テント一式 (要外張り)、ストーブ (寒冷用ガス缶)、クッカー 共 同 食 : 車提供者 : 個人装備 : ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、シュラフ、 エア (銀) マット、水、帽子 (目出帽)、冬グローブ、スパッツ、ストック、 ピッケル、アイゼン、わかん、ツェルト、スコップ、携帯トイレ、サブザック 個 人 食 : 食事 x 4 プラス予備食、行動食
感 想	4/8 “てんきとくらす” では A だったがあいにくの雨、ロープウェイを降り、西穂山荘 まで黙々と歩く、登山客は見かけなかった。 4/9 朝になっても雨は止まず、モチベーション低下しそのまま帰る。1 月に続きまた 不完全燃焼に終わる。テント泊は私のみ、小屋は 10 人ほど宿泊客あり。 迷わず防水機能の無い冬用外張を持参したが雨でテント内は水浸し。この時期、 雨と雪の両装備が必要なことを痛感した。時間が余ったので“ひらゆの森”で ゆっくり温泉につかり、疲れていない体を癒した。